

## 「学校支援」から「地域と学校の連携・協働」へ！ ～美咲町立旭学園校区の取組を手掛かりに～

令和6年8月1日（木）に津山リージョンセンターで、「地域学校協働活動研修会」を開催しました。地域学校協働活動推進員、学校運営協議会の委員、学校ボランティア、教職員、行政職員など幅広い立場の方々、約70名の参加がありました。研修会では、美咲町立旭学園校区の取組についてパネルディスカッションを行い、その後グループに分かれ、情報交換や協議を行いました。

※地域学校協働活動推進員を推進員としています。

### 学校

旭学園を「学校を核とした地域づくり」のシンボルに！

- ・学校運営協議会委員の検討、選定  
→実際に地域で活動をしていただける方に
- ・年6回の学校運営協議会の実施
- ・学校運営協議会に向けて、会長、副会長（推進員）と事前の打ち合わせ
- ・学校運営協議会で熟議を行い、学校の方向性を地域の方に理解してもらう。
- ・学校運営協議会において、地域が参画する郷土学習を提案
- ・生活科、総合的な学習の時間の計画づくりに推進員も関わる。

【パネリスト】  
美咲町立旭学園  
校長 藤原敬三 氏

### 行政としての伴走支援！

- ・「美咲町生涯学習推進計画」に地域と学校の連携・協働を位置づける。
- ・町内5校すべてに、学校運営協議会を設置し、推進員（6名）を委嘱する。
- ・年度初めに推進員の委嘱式を行う。
- ・教育長が推進員に委嘱状を手渡す。
- ・統括的な役割を担う推進員を1名委嘱
- ・推進員と行政担当者の月1回の定例会
- ・推進員の活動内容を地域に情報発信（広報誌、ケーブルテレビ等）
- ・学校施設を地域連携のために使用できるようにするための条例の制定

### 教育委員会



【パネリスト】  
美咲町教育委員会  
生涯学習課  
課長 平賀慎一郎 氏

### 推進員

学校と地域のつなぎ役！

- ・地域の一員であることを意識する。
- ・地域の情報を知っておく。
- ・地域の方と自分がどれだけつながれるかが大切。多くの地域の人と知り合いになる。
- ・学校運営協議会で出たアイデアや課題解決を形にしていけるようにする。
- ・学校でできない学びや活動を、地域でできるようにお手伝いする。

例 旭学園：英語教育に力を入れている  
地域：英語検定の実施  
受検の学習をサポート

【パネリスト】  
美咲町立旭学園校区  
地域学校協働活動推進員  
飯田純子 氏

学校支援も大切な取組ですが、地域が学校のお手伝いをするだけでなく、地域と学校の連携・協働へ一歩踏み出すことで、子ども達だけでなく学校に関わる地域の大人、そして地域が元気になることがポイントです。

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の取組は、ツール（手段）であって目的ではありません。

地域学校協働活動には、多様な活動がありますが、**コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進**に取り組むということは、学校の教育活動の教育課程内（各教科、特別活動、総合的な学習の時間など）の活動に切り込んでいくことです。そのためには学校支援だけでなく、地域と学校の連携・協働が必要になります。



【コーディネーター】  
岡山大学学術研究院教育学域  
教授 熊谷慎之輔 氏